

こんにちは

会社訪問記

西三河地区最終処分場のモデルケースとなるように、適正処理に力を注いでいます。

山本石産株式会社

(愛知県岡崎市)

岡崎市で、収集運搬から中間処理、最終処分まで一貫体制で適正処理に取り組む山本石産株式会社に伺い、山本社長にお話をいただきました。

— いつ頃創業されたのですか。

山本社長(以下山本に略)『戦前から石材商店として業を行ってきた経緯からいうと古いのですが、法人化したのは昭和46年です。最終処分場の許可を取得してこの業界に参入したのが平成2年ですから、処理業者としてはまだ日が浅いわけです。』

— 最終処分場の敷地はやはり碎石場の跡地を利用しているわけですか。

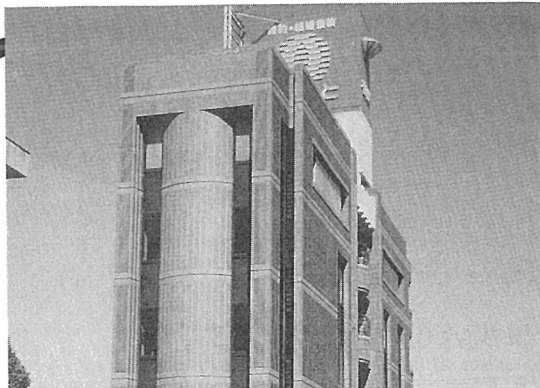
山本『そうです。当社は15ha程の碎石場を所有しております、許可を取る10年くらい前から跡地の有効利用ができないかと調査研究をしていました。地元の方々の同意をいただくことに5年程かかり、協定書を作成してようやく処分場をつくることができたわけです。』

— 最終処分場は安定型、管理型のどちらでしょうか。

山本『当社処分場の許可は安定型ですが、仕様自体は管理型と同じになっています。遮水シート、水処理施設も備えていますので、行政から当地区のモデルケースとして扱っていただいています。また、環境対策にも気を配り、環境事業部というセクションを新たに設置し、いつ地元の方に来ていただいてもよいように適正処理を心がけています。年間に2回程パトロールを地元の方々に行っていただき、自分たちの目で確かめていただくようにしています。また、これは地元対策とは違いますが、当社は許可取得時よりマニフェストを使用しています。契約していただくお客様には必ずマニフェストを使っていただくようお話をさせて



山本社長



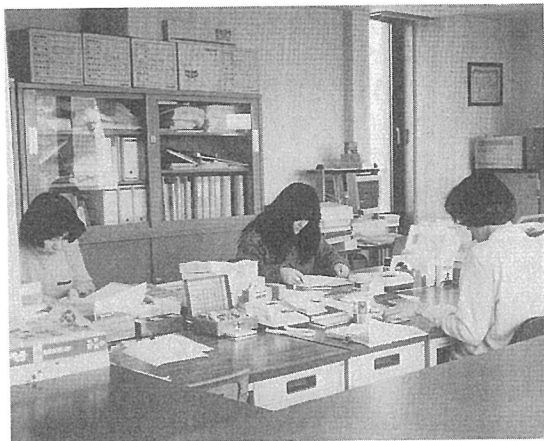
社名/山本石産株式会社 所在地/愛知県岡崎市康生通西3-29-3
代表者/山本雅樹 設立/昭和46年 従業員/25名 TEL/0564(21)4352
事業所/本社、三河碎石工場
営業種別/収集運搬、中間処理(破砕)、最終処分
取扱物品目/廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

もらっています。』

— この最終処分場の埋立期間はどれくらいだと考えていますか。

山本『碎石を行いながらということもありますので、長期的視野に立って考えていかねばならないと思います。できる限りいまの場所で長く行いたいですね。10年から15年は存続させたいと考えています。』

— 最後に、今後の事業計画を教えてください。山本『現在、産業廃棄物処理は碎石に比べると比率的には少ないのですが、今後は産廃が増えていくだろうと予測しています。リサイクルもどんどん手がけていきたいですね。』



社内